

学びのプロジェクト／数学科編

／21世紀パズル「THE立体」を作る！

○はじめに

先日の9月14日（木）の放課後、数学1教室で、21世紀パズル「THE立体」作りを行いました。このパズルは、何個かの木のキューブで作ります。3方向から見て、3つのアルファベットができるようにします。例えば、「THE」なら、21個のキューブが必要となります。下の写真のように見えればOKとなります。



横から（逆さ）

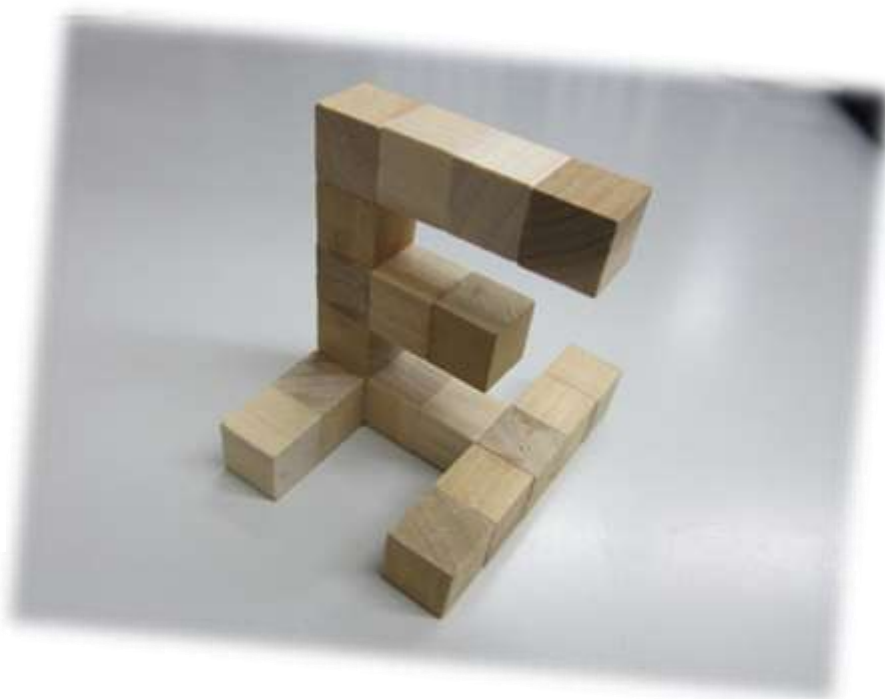


上から



前から

完成した「THE」



他にも、「OUT」、「SET」、「GET」ができます。しかし、今回参加した9名の生徒のみなさんはみな、オリジナル（誰も作ったことのない）の作品に挑戦しました。本当に素晴らしい作品が続々と仕上がりました。

○参加した生徒のみなさんの感想

T君（中1）：（作った三文字）AKL

（次回に挑戦したい三文字）NHK

（感想）案外あっさり作れた。Lは、AKを作ったとき、自然にできていることに、S君が気づいて、3文字作ったことになった。1文字を作って、そこからつけ足すだけで1文字はすぐだった。ボンドでつけるのが難しかった。作ったものは、持ち帰って紙おさえ（？）みたいに使っている。



Nさん（中1）：（作った三文字）BAD、（次回に挑戦したい三文字）MDL

（感想）どこにどうやってブロックをはればいいのかを考えることが難しかった。はる場所を間違えてミスもしたけど、楽しかったから、家でもう一度チャレンジをしたいと思う。

S君（中1）（作った三文字）HKD

（次回に挑戦したい三文字）ABC

（感想）考えるのが楽しかった。

T君（中1）（作った三文字）ACE

（次回に挑戦したい三文字）KOT

（感想）ボンドを接着するのが、意外に難しく、ずれたりしたけど、形はしっかりとできた。次の企画では、もっと上手くできるようにしたい。



T君（中1）（作った三文字） I S L
（次回に挑戦したい三文字） SMK
（感想） どうすれば、ピッタリと合うか
考えていくのが、難しかった。でも、
できると、とてもうれしかったです。



K君（中1）（作った三文字） C K L
（次回に挑戦したい三文字） T H E
（感想） CはC組の「C」、Kはきしもとの
「K」などの意味を持っています。難し
かったのは、ちゃんと文字に見えたか、
どの文字にするかなどです。だけど、出
来た時は、とてもうれしかったです。
また、作ってみたいなと思いました。



（担当：数学科 中山 淳）

